

人文自然科学

論集

No.99

1995

■論文

THE WOMEN'S MOVEMENT IN JAPAN FROM
THE TAISHO PERIOD TO THE PRESENT (5)

徳座 晃子

雲南省の彝語支諸集団の民族識別をめぐって(上)

松本光太郎

ネイティブ・アメリカ(1)

寺地 五一

自己愛はいかにして可能か

藤澤賢一郎

目 次

論 文

THE WOMEN'S MOVEMENT IN JAPAN FROM THE TAISHO PERIOD TO THE PRESENT(5)	徳 座 晃 子	3
雲南省の彝語支諸集団の民族識別をめぐって(上)	松 本 光太郎	39
ネイティブ・アメリカ(1)	寺 地 五 一	59
自己愛はいかにして可能か	藤 澤 賢一郎	108

1995年度TKU国際シンポジウム
「1945年の敗戦から何を学んだか」

——日・独・伊の比較の視点から——

プログラム

第1日 5月25日(木) 東京経済大学

- 10時 開会
東京経済大学学長
富塚文太郎氏 挨拶
- 10時30分 公開講演
加藤周一氏(評論家)
- 1時 「日・独・伊の戦争責任の比較」
色川大吉氏(東京経済大学)
ヘルベルト・ヴォルム氏(ハンブルグ大学)
フランコ・デルラ・ペルータ氏(ミラノ大学)
- 5時 閉会

第2日 5月26日(金) 東京経済大学

- 10時 「日・独・伊の戦後責任の比較」
竹前栄治氏(東京経済大学)
ジュリオ・サッペリ氏(フェルトゥリネッリ研究所)
ウード・ヴェングスト氏(ドイツ現代史研究所)
- 1時 総括討論 司会 色川大吉氏
- 5時 閉会

第3日 5月27日(土) 東京経済大学 E101 教室

- 10時 「戦争を知らない世代はあの敗戦から何を学んだか」
日・独・伊・中国・韓国などの代表の報告
- 1時 総括討論 司会 磯崎篤氏(東京経済大学)
阿部哲也氏(東京経済大学)
- 5時 閉会

シンポジウム運営委員会 色川大吉(委員長)・竹前栄治
藤澤房俊(事務局)

問い合わせ 東京経済大学広報課

〒185 国分寺市南町1丁目7番

電話 0423-21-1941

1995年度TKU国際シンポジウム

「1945年の敗戦から何を学んだか

——日・独・伊の比較の視点から——」

日 時 1995年5月25日, 26日, 27日

場 所 東京経済大学

主 催 東京経済大学

後 援 朝日新聞社他

1995年は、日本に、アジアの諸国に、そして世界中に多大な悲劇をもたらした第2次世界大戦が幕を閉じてから50年にあたる。その戦争の受けとめ方は、軍事力の増強や憲法論議にみられたように、日本のその後の歴史的諸段階のすべてに関わっている。

たしかに、従軍慰安婦への補償や中国残留孤児の問題を含め、あの戦争で犠牲になったすべての死者、なかんずく侵略された国々の民衆にたいする犯罪的行為を国家レベルで問いなおすことは不可欠なことである。しかし、同時にあの戦争を引き起こした国民とその後裔たちである戦後世代が、敗戦から50年にあたる1995年の今、自らの問題としてあの戦争を問いなおし、それを教訓化し、後世に確実に伝えていかねばならない時が来たように思う。

日本とよく似た歴史を歩んだドイツ国民、イタリア国民も、また当然のこととしてそのことを避けて通ることはできない。歴史上最大の戦争を始め、未曾有の悲劇を人類にもたらしたドイツ、イタリアそして日本の研究者や若者が一堂に会して、それをどのように総括し、どのように教訓化してきたのかを謙虚に検証し、敗戦から半世紀を迎える1995年に、あの戦争を問いなおすことはきわめて意義のあることである。

目に見える激動と目に見えない潜流が動いている世界の現状にあって、敗戦の受けとめ方は、ほかならぬ今日の、未来に向けての態度決定を左右する。それだけに、敗戦を問いなおすことは、不透明な時代に未来を切り開き、グローバル時代の人類の共生を作りだす上で何らかの重要な手掛かり私たちに与えてくれるのではないかと考える。

本シンポジウムは専門部会と学生部会の2部構成である。専門部会では第1テーマを「戦争責任」として敗戦・降伏の仕方の相違、戦争責任の重層性、戦後の歴史教育と戦争責任等を、第2テーマを「戦後責任」として占領と戦後改革、戦後補償、平和貢献等を日・独・伊の比較の視点から討議し、最後に総括討論を行う。学生部会では日・独・伊に加えて、中国・韓国の学生とともに、「戦争を知らない世代はあの敗戦から何を学んだか」というテーマで報告・討論を行う。

執筆 者 紹 介 (執筆順)

徳 座 晃 子 本学教授 (英語、外国文学 I)
松 本 光太郎 本学助教授 (文化人類学)
寺 地 五 一 本学専任講師 (英語)
藤 澤 賢一郎 本学教授 (哲学)

人文自然科学論集 第99号 (非売品)

編 集 者 余 部 福 三

編 集 人 東京経済大学人文自然科学論集
編 集 委 員 会

〒185 東京都国分寺市南町1-7

電 話 0423-21-1941(代表)

FAX 0423-24-1354

印刷/製本・伊坂美術印刷株式会社 発行 1995年3月22日

THE JOURNAL OF HUMANITIES AND NATURAL SCIENCES

No.99 March 1995

CONTENTS

Articles

- THE WOMEN'S MOVEMENT IN JAPAN FROM
THE TAISHO PERIOD TO THE PRESENT (5)Akiko TOKUZA... 3
- Ethnic Identification of Speakers of the Lolo
Languages in Yunnan Province (1)Kotaro MATSUMOTO... 39
- Native America (1)Goichi TERACHI... 59
- Wie ist die Selbstliebe möglich?Ken'ichiro FUJISAWA...108

Published by

TOKYO KEIZAI UNIVERSITY

Kokubunji-shi, Tokyo